

AAA - トリプルA

安心 - 安全 - アナーキー

どんな風に、何が、どこに？

3.11

昨日から今まで、そして、まだ確実に明後日までかかる！

危険なの？危険じゃないの？核エネルギーはいいの？

よくないの？

食べられる野菜 VS 個人持ちのガイガーカウンター…。

ああ、美しい東北地域 - 私の友人たちはどうして
いるのだろう？！新聞、ニュース、もしもし？また停電…。

将来？他の選択肢はあるの？

誰が何を知っているの？どこに行こうとしているの？政治家は、“数値は大丈夫です。全部大丈夫です。/安心です。安全です。”って言ってるけど。

AAA/ TRIPLE A 事情に通じている人たち、それは全然違う別の人たち…。定義によればそれはイコール権力！でも、どういう目的で？誰のために？どうしてこんな低い数値なの？どうしてこんな風に隠すの？何故？

聞いてみよう！追求しよう！問いただそう！考えて！解明しよう！

聞かなければ、無知のままだ。

独自のイニシアチブを持った自治団体の再生可能エネルギーの情報政策！

私は、動かなけれ
アナナバ、動け
準備万キ端！

自由への入り口として積極的に活動すること。動くとい
うことと能動的に共に具體化していきく。

衣服 行動の自由=考える自由。自己決定と自己実現。

衣服 人間によって人間を支配しないこと - 拒む

のだ！ 自由と知識の抑圧の形としてのいかなるヒカルキーも拒むのだ！ 衣服を着て、前に向かって！私たちのものを取り返すのだ！

アナーキー！

エリオ・オイティシカがやってみせたこと：Parangolés
(自由制作) =動く衣装 人は個人として何か感動させら

れる。だから、共同体においては人が

重要なのだ。彼の

芸術はテキスタイルのボディ・イベン

トというようなも

ので、遊びやダンスの要素も入ってい

るが、majimeに出

来事として行動へと誘い込む。教える

などといったこと

もない！アナーキーの平和的な側面が

政治的な理想や

哲学を指し示す入り口！

でも、身体としての私たちも必要だ - 伝達装置と

して - 創造的な活動と共同体的な連帯とのリンク。

そうでなければ、生地は何の意味ももたず、ただの

布だもの。テキスタイル - 衣服 - ファッション

それを着る人間は、媒介者というだけではなく、表現
をし、それを享受する立場もある…。

インスピレーションを与え、さらに考えて、呼び起させ！

エドウィナ・ホールは AAA で、同じようなことを考えている。たとえ団体の中にいても、個人でいても、人は動かなければならぬ。それを示すための遂行的な可能性

としてのファッショhn。理想は、裁断と縫製の間に組み

込まれたコンセプト。自由が支配する体系を追い求め

ることは、それがたとえ引き裂かれてしまったとしても、

人間が持っている高価な財

産である。だから、すでに

あるヒエラルキー、例えば

政治や強大な権力を持つヨ

シツエルンなどに抑圧され

たりすることは許されな

い。

私たちはひとりぼっちでは

ない！さあ、前に進もう！

Sabina Muriale

AAAとは財務体系において、最も高いとされる段階である。また、最も信用がある債権のこと。この格付けは格付け機関によつて算出され、ほとんどの国の経済的な運命はこの格付けに左右されているように見えてる。

借錢ができるということは、信用があるということ

銀行や経済も、信用で成り立つていい。信用することができるといふことが、最も大切なこと。それで、多くの、多すぎるぐらいの真実が存在し、それらの真実が、そのつど、その時々の見通しや、視点の置き方、興味の持ち方によってちがってくる。ありのままの事実なんて存在しない。事実はすぐに、興味の持ちはうによつて覆いがかかるかって見える。みんなが信頼するようになれば、真実さんは、すぐに覆いの中に見えなくなってしまう。

真実を知っているつもりの人たち、そして真実を追い

求めようとする人たちがいる。覆いは繰り返し模様がつけられ、いつも違う色をしている。実際のところ、そ

のような覆いというものは、最終的には守るという役割があるのだが、さらに下に控えているものを隠すということもできるのだ。そのような覆いは、コートとしては良い衣服である。私たちをより安全に感じさせてくれるものだ。ところが、どの材料で作られているにせよ、世界中のすべてのコートが役に立たないような（

気象）状況があるというのは、まぬけすぎる。

どういうこと!? そんなに心配しなくてもいいということ。私たちのことは最高の権力が面倒を見てくれるのだから。もし、私たちが目下のところ未だ想像もつかない巨大な実験場の一種の研究対象で、一度にすべて

が暴走してしまったのだとしても、私たちはその権力の制御下にあるのだから。私たちの心配を吹き飛ばすために、魔法使いの見習いが、1000回もすっかり暗記して暗唱してきたすべての魔法のエネルギー、もうこれ以上魔法の呪文の用意はいらない。

安全の A : 安全のため・・・安全にして！

「今夜は県内の広い領域で雪が降ります。どうぞ、転ばないよう靴などの対策をお忘れなく。」(テレビの天気予報)

- 「雪のため列車の遅延が予想されます。どうぞ、早く起きして、お仕事に遅れないようにしてください。」(テレビニュース)
- 「明日は寒くなります。どうぞ、暖かい服装でおでかけください。手袋もお忘れなく。」(テレビニュース)

- 「終点です。みなさま傘などのお忘れ物などないようにお気をつけください」(電車内の案内)

- 「食べ物は賞味期限内にお召し上がりください。ただし、防腐剤は食べられません。」

そうなのだ。幸運なことに私たちは、大なり小な

りこれ
らの正確な保護文書によって何事も推測すること
が
できる。防腐剤があるのはいいよね。でも、食べ
物自身

は大丈夫なのかしら？安全第一、福島第一。じゃあ、福

島産のお米については、どのように書いてあるのだろう？問題なく食べることができます。奇跡的にすべて基準値以下です。それで、農家の人々はほっとできるし、私たちもそのように安心していいればいいのだ。

安 心 の A 一 ジ 安 心 √ だ さ い !

－「間もなく出発いたしますので、座ってお待ちください。ちょっとした騒動がございましたが、すぐに解決いたしました。どうぞ、そのまま、座ったままでお待ちください！」

- 「どうぞ、お静かに。列をつくってゆっくり出口におすみください。」
(駅構内での案内)

ボランティアの監視員が禁煙地区的道路で監視し、常に電車や駅のポスターが私たちのマナーについて呼びかける・・・。そして、私たち自身も常に自分を制御し、自らの振る舞いに気をつける。

私たちが保護された島に住んでいるという事実。つまり、駅や電車の中で永遠に続くアナウンス、公園や教室での案内、細かい指示から、アドバイスや警告・・・。工事現場では、落とし穴に落ちたりしないように、通過する場所が点滅している・・・。そこら中で庇護されている、国はやり遂げたのだ！未だにおむつがとれない私たちにも気に入ることもあるかもしれない。でも、私たちを占拠しようとしての？「福島」は、私たち中に

アナーキーのA

誰の中にもアナーキストは住んでいる。たとえ、システムに制圧されたところで生きていようが、自由な空間を占拠しようとする生きる意思が私たちの片隅に座っている。

アナーキストが、今日では“もうひとつの理性の声”で
ありうる。「理性の声は小さい」とジークムント・フロイドも言っている。だからこそ、大きな声で言わなければならぬ。不当な権力に反対するべきだ。たくさんの人々のそれぞれの自由への熱望から、共通の価値を作ることが、社会における模範的な振る舞いになりうるかもしれない。

国家の庇護の下に...。

Karin Ruprechter